



All Seigakuin Fellowship

No.52
Jun.2014

ASF NEWS

特集 聖学院小学校新校舎

- ・「よく学ぶ・よく遊ぶ・よく祈る」を校舎の形で具現化しました。
- ・新校舎のフロアコンセプトご紹介



建築中の聖学院小学校新校舎(6月10日付)

子どもたちの希望をのせた小学校校舎がもうすぐ竣工します。引き続き皆さまのご支援をお願い申し上げます。

住所変更・お問い合わせは
各校へお願いします

- ◎聖学院大学総務課
(大学院・女子聖学院短大) …… (048) 781-0925
- ◎聖学院大学附属みどり幼稚園 … (048) 622-3864
- ◎聖学院中学校高等学校………… (03) 3917-1121

- ◎女子聖学院中学校高等学校…… (03) 3917-2277
- ◎聖学院小学校・幼稚園 …… (03) 3917-1555
- ◎学校法人聖学院ASF事務局 …… (03) 3917-8352

Love God and Serve His People

聖学院

〒114-8574
東京都北区中里3-12-2

聖学院各校の教育充実のために 募金をお願いします。

目 次

[巻頭言] 聖学院大学第二の創成期に向けて	1
聖学院大学長 姜尚中	
●特集 聖学院小学校新校舎	2
「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」を校舎の形で具現化しました。	
新校舎のフロアコンセプト ～各フロアに込められた時間と空間のストーリー	
連続コラム	6
私が出会った聖書のことば（第十九回・山口博先生）	
各校ニュース	7
学生・生徒・児童・園児の活躍	10
ホームカミング情報（2014 年度）	12
マスコミ等に見る聖学院	13
2015 年度 入試案内	14
イベント情報	15
オール聖学院フェローシップ規則	16
ASF 募金要項	17
2013 年度プロジェクト別内訳	18
税制上の優遇措置について	19
ASF 募金「振込用紙」の書き方について	20
インターネットでの寄付のお申し込みについて	21
2013 年度 ASF 募金報告（募金者名簿）	22
2014 年度 ASF 推進委員一覧	28

聖学院大学第二の創成期に向けて

聖学院大学長 姜 尚中

昨年4月、聖学院大学全学教授に着任した私は、この4月より、阿久戸光晴学長の後任として、第六代学長をお引き受けいたしました。1988年の設立当初、政治経済学科のみの単科大学からスタートした本学は、四半世紀の歴史を刻んだ現在、3学部6学科および大学院3研究科を持つ中規模大学へと成長を遂げました。

私に与えられた学長としての5年の任期を終える頃、本学は創立から30年を迎えることになります。変化の激しい現代社会で、一つの組織や制度が30年にわたって存続することは至難の業とも言えるでしょう。これからの5年間、本学の舵取りを任せられた私の仕事は、次の30年に向けた土台作りをすることです。30年という創成期を締めくくる今後5年の間に、来るべき本学の第二の創成期——これを私は「Next30（ネクスト30）」と造語しました——へのしっかりとした飛躍台を築くことが、学長としての私の使命であると考えています。

日本の社会とそれを取り巻く環境は、これからの5年間、いっそう厳しさを増し、大学をはじめとする教育や学校の在り方も、大学と社会との関係も、劇的な変化にさらされるものと思われます。大学は、確固としたアイデンティティと未来へのビジョンを持ち、明確な教育方針と大学としての社会的なミッションを示すことができなければ、存在理由が認められず、存立そのものが危うくなってしまうことも考えられます。しかし私は、むしろこうした困難な時期を勇気を持ってしっかりと受け止め、「神を仰ぎ」、豊かな教養力と専門的知識、そして現場力を通じて「人に仕える」学生たちを本学から社会に送り出していきたいと願っています。

キリスト教の精神を教育の基本に、キャンパスを「一

人ひとりの心を大切にしながら、人間的成長を促すための場」とする本学は、“面倒見のよい大学”“入って伸びる大学”という評価をいただいています。目には見えないけれど、確かに認められている本学ならではの「良き教育」を、さらにレベルアップさせていくためには何が必要でしょうか。私は、キャンパスのインフラやアメニティの向上につながる、目に見えるハード面の整備が、大きな鍵になるのではないかと思います。

キャンパスを学生にとって楽しく居心地のいい場所にするとともに、自分の居場所となるスペースを見つけやすい環境を整えることも大切です。その役割をカフェや図書館が果たすかもしれません。また、24時間オープンが理想ですが、せめて夜遅くまで長時間利用できる多機能な図書館へと、図書館の充実も図っていきたい。そして、経済的に困難な状況にある苦学生をサポートするための本学独自のスカラシップの充実も急がれています。

私は本学が、より魅力ある“入りたい大学”、我が子を“入りたい大学”になっていける大きなポテンシャルを持っていると感じています。今後、ハードおよびソフトの両面で、本学はより充実した施設とプロジェクト、そして安定した財政的基盤を必要としています。聖学院大学が第二の創成期に向けて力強く飛躍できるよう、皆さまのこれまで以上のお力添えをお願い申し上げます。



「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」を校舎の形で具現化しました。

聖学院小学校 校長 村山 順吉



今年12月に完成予定の聖学院小学校新校舎。そこに「神を仰ぎ、人に仕う」の教育理念と子どもたちへの思いがどのように込められたかを、村山校長に語っていただきました。

◆子供の存在を中心に置いた新校舎づくり

少子化が進み子どもがマイノリティ（社会的少数集団）になった現代、社会は多数派である大人の都合を優先して作られ、子どもたちは大人中心の社会に合わせながら時には窮屈な思いをして暮らしています。子どもたちが伸び伸び育つために必要な時間・空間・仲間が揃っているのは、もはや学校くらいでしょう。学校の存在意義も変わってきています。

多感な子どもたちが個性を伸ばし、柔らかい心と頭の中に様々なものを吸収していく……小学校で過ごす6年間は人生の土台を築く時間です。この時間と仲間に加え空間が大切であり、それが校舎です。しかし、近頃建築される小学校は、やがて生徒が減少して廃校になることを前提に、病院や他の施設に転用しやすいよう設計されているものが少なくありません。残念ながらそれは、子どもに焦点を絞った空間とは言えないでしょう。

このような時代、聖学院小学校はちょうど校舎建て替えの時期に差しかかりました。

学校法人聖学院のスクール・モットーは「神を仰ぎ、人に仕う」です。この言葉は小学生には少し難しいので、聖

学院小学校では「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」と言い換えて教育目標に掲げています。「変化が激しい世の中にあっても、自分の存在を肯定しながら他者と幸せに生きていける子どもに育てたい」と、真剣に教育に取り組んできました。そして、私たちはスクール・モットーに立ち返り、「子どもが安心して、そこに居ることが嬉しくなるような校舎を建てたい」と願いました。

しかし、大人たちは自分たちの経験の範囲でしか想像力・創造力を働かせることができません。新しい校舎の設計には、子どもたちの柔軟な発想と感性が不可欠でした。

2年前、図工の時間を利用して子どもたちに「理想の校舎」を紙粘土で作ってもらい、その中で目を引いた「ツリーハウス」に夢のあるヒントを得ました。新校舎完成予想図でアーチ屋根になっている中央部の両脇は階段で、樹木の幹をイメージしています。子どもたちはこの幹を通り抜け、枝である教室に移動するのです。

このように子どもたちの夢を基盤にしながら、新校舎の地下から4階まで「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」を6年間という時間軸に沿った1つのストーリーにしたいと考え、建築のコンセプトを煮詰めてきました。

新校舎のフロアコンセプト

～各フロアに込められた時間と空間のストーリー～



一人ひとりが神様に愛されている存在 “祈りのフロア”

B1

チャペルは、イエス・キリストが私たちが底辺からしっかり支えて下さっていることを象徴して、校舎の地階に配置しました。学校生活の一日はここでの礼拝から始まります。讃美と祈りをもって、神様の愛のうちに一人ひとりがいかされていることに感謝しつつ、礼拝を捧げます。「自分は神様から命を与えられここに居ることそのものが大切にされているのだ」「友達も同じように大切にされている存在だ」と学ぶ場所です。



チャペル



学年をこえた学びと交わりが成長を育む “出会いと交わりのフロア”

1F



ランチスペース

それぞれ異なった個性を持つ児童一人ひとりが、時には学年の枠を超えた交わりを通して、互いに成長していきます。昼食時には、普段英語教室、家庭科教室、ホワイエ（憩いの空間）、ラウンジ（談話室）、として使われるスペースを開放し、全校の半分の児童が食事をする空間となります。スクールランチを共にしながら、楽しい交わりの時を持ちます。



理科室



図工室

「異文化との交わり」を大切にしたい英語教室、「自然との出会い」の理科教室、「造形活動による自己表現を通して自分と出会う」図工教室があります。



子どもたちと先生たちが会える玄関口 “風とルーアッハのフロア”

2F



教室

ルーアッハとは、旧約聖書において、神が人類最初の人間「アダム」に吹き入れた息のことです。新校舎は2階がエントランスになり、毎朝神様に息を吹き入れられた一人ひとりを、人格としてお迎えします。小学校生活が始まったばかりの1、2年生の教室と、職員室がこの階にあります。それ以外に、プレイルームがあります。ここは、学年のイベントや学年を超えての交わり等、多目的に利用できる空間です。また風通しの良い学校であることを願って、呼称に「風」を加えました。



学んだ知識を生きる力に “学問と知恵のフロア”

3F

低学年から高学年に向かう中間地点、3、4年生の教室と、図書室があります。学問や遊びを通して得てきた知識を知恵として身につけ、生きる力にしていきます。

図書室の隣には、仲間と一緒にゆったり過ごせる空間があります。

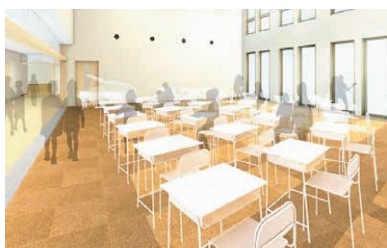


図書室



光に包まれた空間で、学びと創造体験へ “音と光のフロア”

4F



音楽室

校舎の最上階です。この階には、5、6年生の教室と音楽室があります。南からの光を取り入れ、天井が高く、最上階ならではの採光に恵まれた空間の中で、音楽を楽しみます。形あるものから、それを超えた世界に羽ばたいていくことを願い、聖学院小学校での実りの時を過ごすところです。

この校舎で「よく学ぶ、よく遊ぶ、よく祈る」6年間を過ごした生徒たちが自分の存在を活かした未来づくりをしてくれると確信し、私たちはその成長を支えていきます。

聖学院小学校創立50周年・新校舎建築記念 「レンガウォール募金」のご案内

募集中
7月31日まで

みなさまからお寄せいただく芳志を、お名前を刻印したレンガという形にいたします。

子どもたちを見守る心温まる空間ができあがります。

聖学院小学校建築委員会では、「レンガウォール募金」を企画しました。

新校舎建設事業は総事業費15億円。今年度のご寄付の目標額を1億5千万円とさせて頂き、皆様にご寄付をお願いさせていただきたいと思ひます。

「レンガウォール募金」は、この事業の趣旨にご賛同くださり、ご芳志を捧げてくださる方々全員のお名前を、地下チャペルへ続く階段壁のレンガタイルに刻み、末永く感謝を憶えるという趣旨のものです。

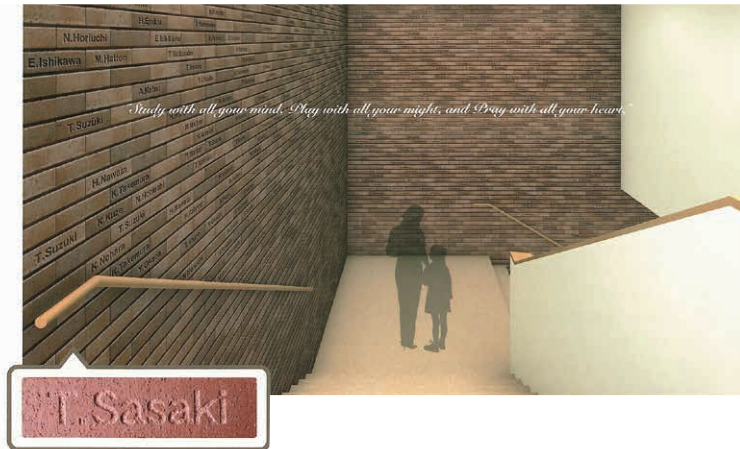
ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1. 募金目標額 金1億5千万円
2. 一口の金額 5万円
(二口以上のご協力を頂けると幸いです)
3. 募集期間 2014年3月1日～7月31日
4. 募金の使途 新校舎建築資金・新校舎施設拡充資金ほか
5. 募金対象者 在校生保護者、卒業生(同窓生)、
(現旧)教職員、学院関係者等
6. 問い合わせ・申込先 聖学院小学校事務所
(03-3917-1555)

* ASF募金として一定額の税制上の恩典があります。

* 刻印する文字はアルファベット大・小文字、数字、記号を使用して、11文字以内でお願いします。不適切な表現は記入できません。

* 設置場所の指定はご容赦ください。



私が出会った聖書のことば（第十九回）

はじめに神は天と地とを創造された。
地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。（創世記 1 章 1~2 節）



学校法人聖学院 副院長兼
キリスト教センター所長
聖学院大学人間福祉学部
チャプレン（児童学科担当）

山口 博

わたしが聖学院中学校に入学が決まったころのことです。入学準備説明会がありました。話の内容は覚えていませんが、購入した通学用皮鞆の匂いと教科書の重さは忘れることが出来ません。一寸だけ大人になったような気持ちでした。

家に帰り畳の上にそれらを広げると教科書に混じってひときわ厚い本がありました。「聖書」と書いてあります。「なんだろう、これは」と言うのが最初の印象です。「はじめに神は天と地とを創造された。」との不思議な言葉が目に入りました。これに続く聖書のことばは、霊妙な世界に誘っているようでもあります。

それから馬齢を重ねること51年。「なんだろう、これは」と言う思いの始まりは今なお続き、歳を経るごとにその重さは、深さへと変わっていくようです。

※聖学院諸学校で牧師として活躍しておられる先生に原稿をお願いしています。

各校ニュース

教育における基礎工事の 重要性を自覚する聖学院

いつも一方ならぬ本学院へのご支援・ご理解を賜り、心から御礼申し上げます。本年韓国で船の沈没事故がありました（心から哀悼の意を表します）。それは人命よりも経費節減を優先したことが原因です。しかしこれは東北アジア共通の課題です。日本でも数年前、女性専用の深掘り温泉が地下に充填したガス爆発で高層ビルごと倒壊し犠牲者が出ました。設計者が経費節減のため地下に手をかけず高層階に贅を凝らしたためです。「家を建てる者の退けた石が隅の親石となった」との聖書の言葉が

想起されます。地下の有毒ガスの充満は人間の罪の問題を暗示し、家の建設は人間形成に譬えられます。真の人間観・価値観を人格の根底に置く基礎工事を省略し、早く欧米流高層建築に追いつこうとする教育は、地震や有毒ガスという試練が襲う時にもろくも崩れます。私たちはキリストとの出会いという基礎工事の上こそ高層建築ができるとの信念から教育を展開します。

関係各位におかれては、本学院の教育へのご理解と財的支援というもう一つの基礎工事に、どうかご理解をお願い致します。

学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸 光晴



聖学院大学

聖学院大学は、本年度から姜尚中先生が第6代学長に就任致しました。姜尚中学長は、本学が、「学生が自分自身をしっかり認識する場」、「知る喜びを味わう教養の場」、また「人生の目標探しをバックアップする場」として現場力のある教養人を育成する大学を目指すこと、また「埼玉学」を開講するなど地域における「知の拠点」の大学として小さいけれどもきらりと光る大学をつくることの方針を打ち出しています。またハード面では、快適な学生生活のためのキャンパス整備を掲げ、特にアメニティの充実を目指すとしています。パウダールームの設置や和式トイレの改装、学生ニーズに応える売店整備、学生の居場所としてのカフェ設置、キャンパス緑化整備などです。どうぞ大学づくり目標のために、皆様のご協力をいただきたいと存じます。よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

（管理局長 田邊 純一）



女子聖学院中学校高等学校

「社会の必要を知り、遣わされた場でリーダーとして立つ女性」を目指します。

6月3日（火）に代々木第1体育館にて、運動会が行われました。運営や競技の指導は全て高校生によって行われ、今年もまた活気に満ち満ちた運動会でした。多くの保護者の皆様や後援会、卒業生の皆さんの暖かい応援をいただき、感謝いたします。

2014年度は進路指導部のさらなる充実を図っています。いっそう目標を明確にした授業と課外授業にあたるJSG講座（無料）を整備し、また、生徒の視野を社会へと広げていくための進路プログラムの充実に取り組んでいます。

さらに、各教科6年間の授業計画の検討にも着手しています。進路先として海外大学を視野に、海外大学指定校推薦制度を導入し、1名がこの制度を使ってオーストラリアの大学に留学いたしました。

（次頁へつづく）

女子聖学院を支えてくださっている皆さまに心から感謝を申し上げます。

(校長 田部井 道子)



聖学院中学校高等学校

ブリッジ開通

タイ・メーcockファームは聖学院の分校であり、国際ボランティア体験の拠点です。その地に5月大きな橋が開通しました。26年前研修を開始した時から現地総主事は聖学院生に向かって「君たちはブリッジだ」「アジアの懸け橋になってください」と呼びかけました。それから26年経過し、橋が実現しました。4年前にチェンライ郡から話があって土地提供同意書に調印しました。

ただちに工事開始と期待しましたが予算の都合で4年かかりました。橋開通に現地の人々は湧きました。聖学院中高の国際ボランティア活動がこんな形で結実したのは嬉しい限りです。地域経済が確実に変わっていくでしょう。

聖学院中高はさらにイノベートし続けます。最近注目度が上がっています。

(校長 戸邊 治朗)



聖学院小学校

仮校舎での生活も残すところ半年となり、日に日に築き上げられていく新校舎を見上げ、新しい環境への希望に満ちた生活を送っています。仮校舎は多少手狭ではありますが、子どもたちや教職員の距離がぐっと縮まり、豊かな心の交わりを与えられております。

新校舎建築中は小学校の様々な活動のために、滝野川教会、聖学院中高、女子聖学院中高、聖学院幼稚園から施設をお借りし、お力添えをいただいております。特に5月に行われた運動会は聖学院中高のグラウンドをお借りして、天候にも恵まれ、子どもたちの活気に

満ちた素晴らしいものになりました。皆様のお支えにより子どもたちが豊かな日々を過ごしていることに心より感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(校長 村山 順吉)



聖学院幼稚園

皆様のご理解とご協力によって新しい園舎が与えられ、1年半が経過しました。おかげさまで子どもたちはより快適に生まれ変わった園舎で、毎日元気に過ごしています。また保護者の方も安心してお子様を託してくださっています。

園庭にある木々は旧園舎の時代からかわっていません。けれども旧園舎の時代、柚の木にやってきたアゲハチョウやその幼虫、桃の木にやってきていたテントウムシやその幼虫などがなぜか去年はほとんど見ることができませんでした。ところが今年はそれらの虫が幼稚園にもどってきました。子どもたちは毎日喜々として虫たちを観察しています。

幼稚園の隣では小学校の建設工事が進行中です。幼稚園、小学校の敷地全体を見ると、残念ながら以前に比べ緑は減っています。それでも虫たちが戻ってきたことは、子どもたちが安心して元気に過ごせる環境が実は虫たちにもよい環境だということの現れのような気がするのです。

園舎建築のための入金返済はまだしばらく続きます。引き続き皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(園長 佐藤 慎)



聖学院大学附属みどり幼稚園

園長任職式で始まった今年度は、保育目標を「神さまの愛の中で、人と関わりながら生きる力を育む」としました。本来子どもに

備わっている自らを成長させる力を、遊びや礼拝や生活全般の中から引き出すことをめざしています。教え込むのではなく子どもたち自らが考えて決めていくことができるよう、常に祈りをもって保育を行っています。

またご父母や卒園生との連携強化も大きな課題です。幸い5月に行われた小中学生卒園生の「つくしの会」には、100名近くの卒園生が参加して下さいました。

ハード面では4年後の創立40周年に向け、全体に老朽化しつつある園舎やプレイルームの整備を継続的に行う他、園庭をより魅力あるものとするため遊具の入れ替えや、旧プータロ(ログハウス)の再建などを検討していきます。今後とも本園を物心両面からお支えいただきたくお願い申し上げます。

(園長 山川 秀人)



聖学院アトランタ国際学校

セインツでは過去一年、ジョージアの市・郡・州、日本の外務省と頻繁に連絡を取り、様々なプロジェクトを行ってきました。市議会で市長・市議会議員に学校紹介をし、グイネット郡に外国の企業を誘致する代表者やイマージョン教育をジョージア州に広めようとしている担当者にお会いしました。6時までアフタースクールをする許可を得るために、ジョージア州チャイルドケア認可の担当者とも頻繁にお話ししました。さらには外務省に援助申請を出すため、日本で国会議員や外務省・文科省の方達に学校説明をする機会を与えられました。学校紹介に繰り返し用いるセインツのキーワードは、キリスト教教育、平和教育、ツーウェイ・イマージョンバイリンガル教育、サービ斯拉ーニング、協同学習、差別化指導です。外部の方と積極的に会うことでセインツをより多くの方に知っていただく年になったと思います。運動場のないセインツでは、駐車場を整備して体育の授業がやりやすくなることが夢です。25周年に向けて、引き続きご支援をお願い申し上げます。

(校長 エイハーン みな子)

学生・生徒・児童・園児の活躍

2013年12月～2014年5月、活躍した学生・生徒・児童・園児たちの成績をまとめました。

※学年は、受賞した時の学年です。※入賞したもの等を掲載しています。

(2014.6.16現在)

聖学院大学

【体育会陸上競技部】

◆第93回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)

女子1部走高跳び 銀メダル 照井はるか(コミュ2年)

女子1部 4×400m 8位 荷田翔子(福祉3年) 小野 南(コミュ4年)
水野真琴(政経2年) 本間涼夏(福祉3年)

男子2部100m 7位 網島 凌(政経1年)

男子やり投げ 4位 橋本三四郎(政経4年)

男子やり投げ 8位 上条琢磨(政経2年)

女子やり投げ 7位 小池礼華(コミュ2年)

男子2部砲丸投げ 8位 岩田駿介(コミュ3年)

【留学生】

◆第14回在日留学生音楽コンクール(1月)

「インプレッシブ賞」受賞 …(中華人民共和国4名、台湾、ミャンマー連邦、ベナン共和国、
ベトナム社会主義共和国、大韓民国各1名)

聖学院中高

◆全日本ジュニアクラシック音楽コンクール(2013年8月開催/2014年1月受賞)

審査員賞(ピアノ) … 関恵太郎(高校1年)

◆「学びフェスタ」～ロボットの各関節を動かして四足歩行を行うコンテスト

建闘賞 … 物理部

◆「第63期王将戦7番勝負」(毎日新聞主催)王将位の初防衛 … 渡部 明王将(95回卒)

◆「PBL フェスタ」～ステージ発表の部

グランプリ受賞 … 結城峻寛、増淵舜一、曽根翔平(2014年3月卒業生)

【陸上部】

◆東京都高等学校陸上競技選手権大会

男子やり投げ・円盤投・棒高跳 … 本戦出場

◆東京都高等学校陸上競技選手権大会

男子やり投げ … 6位入賞、南関東大会への出場

女子聖学院中高

【チアリーディング部】

- ◆第24回全日本高等学校チアリーディング選手権大会…中学部門12位
- ◆2014年度年間ランキング…高等学校部門全国12位

【テニス部】

- ◆東京都中学校新人選手権大会(個人の部)
第4ブロック大会ダブルス…ベスト5

【演劇部】

- ◆東京都中学校連合演劇発表会…優良賞
- ◆城東地区冬季合同発表会…優良賞

【吹奏楽部】

- ◆都高等学校アンサンブルコンテスト
金管8重奏…銀賞
- ◆2013TAMA アンサンブルフェスタ 高校の部
金管8重奏…銀賞
- ◆都中学校アンサンブルコンテスト
A部門 クラリネット8重奏…金賞
B部門 金管8重奏……………銀賞

【個人】

- ◆全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催「第47回税についての作文コンクール」
優秀作…杜 郁香(中3)
会長賞…酒井麻里(中3)
- ◆第11回礼和流空手道東京北地区大会
最優秀賞…田中美玖(中3)
- ◆All Star Challenge Competition 2013 Pom部門…Junior-Large編成(1位)
Asia Open Cheerleading Championship 2013…エキシビジョン出場
ALL JAPAN CHEER DANCE CHMPIONSHIP CHEER DANCE部門…中学生編成(3位)
越谷市体育賞受賞
以上、又木優和(中3)
- ◆第54回日本武道館書き初め大展览会
日本武道館賞…浜野 和 (高Ⅱ)、中城紗帆(高Ⅰ)、新井 翠(高Ⅰ)
- ◆第6回 田辺聖子文学館ジュニア文学賞
優秀賞…吉田朱里(中1)

ホームカミング情報(2014年度)

今年度開催のホームカミング情報です。ぜひ、ご参加ください。

(2014.6.16現在)

学校名・行事名		日時	対象	概要
聖学院大学附属 みどり幼稚園	同窓会	5月24日(土) ※終了	小～中学生 卒園者と保護者	ご家族を連れてのご参加も歓迎いたします。 軽食をいただきながらのアットホームな会を予定しています。
		7月21日(祝・月)	高校生以上の 卒園者と保護者	
聖学院幼稚園	ホームカミング	2015年 3月21日(祝・土)	1999年度 (2000年3月卒)	2015年1月に成人式を迎えられる卒園生とその保護者の皆様とお祝いし、旧職員もお迎えして楽しいひとときを過ごしましょう。
聖学院小学校	同窓会 「ぶどうの木」 総会	6月21日(土)	卒業生、後援会員、 現旧教職員	会場:東洋文庫内 レストラン「オリエントカフェ」 本校の同窓会総会は後援会(卒業生保護者の会)の総会も兼ねているので、卒業生とその保護者の方がご参加くださいます。学校としてはいよいよ新校舎が本年12月に竣工、2014年1月より使用を開始するので、新校舎の設備及び、新たな教育への取り組み、工事進捗状況などについてご説明する予定にしています。
女子聖学院中高	ホームカミング	9月22日(月)	高36回生	礼拝、記念撮影、茶話会などを予定しています。
		10月11日(土)	高46回生	
		10月18日(土)	高56回生	
聖学院中高	ホームカミング	11月1日(土)、 11月3日(祝・月)	57回生、82回生、 106回生卒業生	11/1(土)、11/3(祝・月)記念祭の2日間に本年度もホームカミングルーム(教室)をご用意いたします。対象以外の卒業生の方々もお誘いあわせの上、ぜひお越しください。再会を楽しんで頂けるお部屋をご用意いたします。
聖学院大学	同窓会総会	11月1日(土)	卒業生	ヴェリタス祭当日に総会を開催し、豚汁の提供のほか、同窓会ルームを開設しアルバムなどを展示予定です。 詳細は同窓会HP等でご案内します。
女子聖学院短期大学	緑朋会総会	年内開催予定		

マスコミ等に見る聖学院

2013年12月～2014年5月までに、マスコミ・メディアに取り上げられた情報の一部をご紹介します。（2014.6.16現在）

学校名	掲載誌(掲載日/放映日)	内容	
聖学院大学	埼玉新聞(2014.4.2)	姜尚中学長 就任関係	「生涯の友との出会いを」姜尚中学長新入生に 式辞贈る。
	朝日新聞埼玉版(2014.4.2)		「大学で真に語れる“心友”見つけて」
	朝日新聞埼玉版(2014.4.23)	聖学院大学と春日部市連携	
	NHK首都圏ニュース(2014.4.19)	「桜プロジェクト」 関係	「金石の復興に大学が支援」桜プロジェクトの支 援について取り上げられた。
	NHKおはよう日本(2014.4.28)	「朝食サービス」 関係	朝食サービスのほか、アセンブリアワー、キャリ アサポートの会社説明会等が取り上げられた。
聖学院中高	サンデー毎日(2014.3.23増大号)	「大学合格者高校別ランキング速報」京大合格者9人以下の高校に ランクイン。	
	産経新聞朝刊東京版(2014.4.25)	鉄道研究部による「北区鉄道ビューマップ vol.2」が掲載された。	
	糸魚川タイムズ(2014.5.26)	中3「糸魚川農村体験の様子」が掲載された。	
女子聖学院中高	朝日中学生ウィークリー (2014.3.2)	2月25日(火)、キャロライン・ケネディ米駐日大使が、ニューヨークの高校との詩の交流授業見学のため女子聖学院中高に来校さ れ、その様子が新聞に掲載されました。 当日は、インターネット中継を通して日米交互に詩を発表し合い、 意見交換を行いました。	
	朝日小学生新聞(2014.3.5)		
	週刊朝日(2014.4.2)	選ばれる私学「首都圏女子・別学女子実力校～国語入試で何が問 われたか～」で、女子聖学院の国語科教員が執筆した小説を入試 問題として出題する取り組みや国語科の教育等が紹介されました。	
	大学プレスセンター 中高ニュース (2014.5.9 / 2014.6.6)	～もっと受験生思いの入試へ～ 2015年度入試で大幅な改革を 実施——日曜に試験実施、検定料の値引き、入学金5万円減額。	

2015年度 入試案内

詳細は各学校にお問合せください。(E-MAIL の場合：pr@seig.ac.jp まで)

聖学院大学附属みどり幼稚園

行事	親子で遊ぶ会	7/9(水)
	入園に関する説明会	9/10(水)
入試関連	募集人員	3歳児40名、4歳児20名、5歳児若干名
	願書配布	10/15(水)～
	願書受付・面接	11/1(土)

※見学はいつでも受け付けています。

☎048-622-3864

聖学院幼稚園

行事	体験入園	7/18(金)・7/19(土) 申込制
	説明会	9/6(土)
	公開保育	10/16(木)
入試関連	募集人員	2年保育約20名、3年保育約40名
	入園願書配布	10/15(水)～10/28(火)
	願書受付	10/29(水)
	入園面接	10/30(木)

☎03-3917-2725

聖学院小学校

行事	体験授業	7/19(土) 要申込
	学校説明会	9/11(木) ※開催場所：女子聖学院中高 クロウソホール
入試関連	募集人員	72名(内部進学者を含む)
	願書配布	6/5(木)～配布中
	願書受付	10/1(水)～10/10(金)
	入試面接	10/18(土)
	入試日・合格発表	11/5(水)

☎03-3917-1555

女子聖学院中学校

行事	一日女子聖学院体験	7/5(土) [要予約]
	生徒がつくる見学会	7/19(土) [要予約]
	帰国生対象説明会	8/2(土) [要予約]
	学校説明会	9/6(土)・10/4(土)・11/15(土)・1/10(土) [一部要予約]
	JSGプレシヤス説明会	10/15(水)・10/16(木)・10/22(水)・1/10(土) [要予約]
入試	入試体験会	12/6(土) [要予約]
	募集人員	帰国生入試(若干名) ①70名 ②45名 ③30名 ④10名 ⑤5名
	入試日	12/14(日)帰国生入試 ①2/1(日)AM ②2/1(日)PM ③2/2(月)PM ④2/3(火)AM ⑤2/5(木)AM

☎03-3917-2277

JSGサマーナイト説明会[要予約]
8/27(水)19:00～ 開催

聖学院中学校高等学校

行事	学校説明会	受験生及び保護者	7/4(金)・7/23(水)※・9/20(土)・10/1(都民の日・水)・10/25(土)・11/29(土)・12/9(火)・12/23(祝・火)・1/10(土) [要予約] ※帰国生対象説明会
	イブニング説明会	受験生及び保護者	7/4(金)・9/5(金)
入試	帰国生入試	募集人員	(中学) A方式:15名 B方式:特に定めず 英語選抜:特に定めず (高校)推薦15名 A・B方式15名
		入試日	(中学) 1/7(水) 英語選抜:2/1(日)AM (高校)推薦1/7(水) A・B方式1/21(水)
	中学	募集人員	英語選抜:特に定めず 一般:①70名 ②40名 特待選抜:①30名②20名③10名④10名
		入試日	英語選抜:2/1(日)AM 一般:①2/1(日)AM ②2/2(月)AM 特待選抜:①2/1(日)PM 2/2(月)PM ①2/3(火)PM ②2/4(水)AM

☎03-3917-1121

聖学院大学

募集人員	[政治経済学部] 政治経済 160名 [人文学部] 欧米文化 80名/日本文化 80名 [人間福祉学部] 児童 100名/こども心理 80名/ 人間福祉 80名	
入試	AO入試【レポート型】	【エントリー】～1/30(金)※1※2
	AO入試 【講義型】・【英語特別】	【Ⅰ期】8/23(土) 【Ⅱ期】9/20(土) 【Ⅲ期】10/18(土) 【Ⅳ期】12/20(土) 【Ⅴ期】1/24(土)※1
	自己推薦入試	1/17(土)※1
	スポーツ推薦入試	【Ⅰ期】9/20(土) 【Ⅱ期】12/20(土) 【Ⅲ期】1/17(土)※1
	公募推薦入試	【Ⅰ期】11/8(土) 【Ⅱ期】12/20(土)
	一般入試	Ⓐ2/3(火) Ⓑ2/13(金) Ⓒ3/2(月) Ⓓ3/11(水) Ⓔ3/20(金)

※1 児童学科では、AO入試【レポート型】、【英語特別】、自己推薦入試、スポーツ推薦入試の募集は行いません。

※2 各学科の定員に達した時は、エントリーができないこともあります。

☎048-725-6191 (アドミッションセンター)

聖学院大学大学院

募集人員	[政治政策学研究科] (修士課程)10名 [アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科] (博士前期) 5名(博士後期)5名 [人間福祉学研究科] (修士課程)10名	
入試	出願期間	(秋期)11/5(水)～11/15(土) (春期)2/3(火)～2/14(土)
	入試日	(秋期)11/22(土) (春期)2/21(土)
	合格発表	(秋期)11/26(水) (春期)2/24(火)

☎048-780-1707

講習会・イベント情報

日程	講演会・イベント名	定員、費用	申込、その他
7/12 (土) 10:40～11:40 (受付10:20～)	子どもの育ちと絵本・ワークショップ 『ふれあい・ことば・あそび』— いっしょに わあ～ はっは 舞踊家加藤みや子先生を講師にお招き して、ワークショップを開催します。	定員:30名 参加費:1,000円	絵本が好きな方、子どもの育ちに関心のある方、ぜひご参加ください。 親子での参加はもちろん、おひとりでの参加も大歓迎です。

今後の講演会・イベント

10/11	第14回ピア・スーパービジョン	定員:約20名 参加費:無料	保健・社会福祉現場で対人援助を行なっている方対象
10/23	2014第2回スピリチュアルケア研究講演会	定員:100名 参加費:1,000円	受付開始9月上旬※
11/14	カウンセリングシンポジウム	定員:100名 参加費:1,000円	受付開始10月上旬※
2015/1/16	2014第3回スピリチュアルケア研究講演会	定員:100名 参加費:1,000円	受付開始12月上旬※

※定員になり次第受付終了

※詳細、その他の研究会については総合研究所HPでご確認ください。

<問い合わせ・申込先: 聖学院大学総合研究所>

TEL. 048-725-5524 FAX. 048-781-0421 HP <http://souken.seigakuin-univ.ac.jp/>

※書籍のご購入はこちらのHPからでもできます。(聖学院大学出版会: <http://www.seigypress.jp>)

オール聖学院フェローシップ規則

名称

第1条 オール聖学院の後援組織である本会は、オール聖学院フェローシップ(以下略称「ASF」という。)と称し、事務所を学校法人聖学院(以下「法人」という。)管理局に置く。

目的

第2条 ASFは、法人諸学校の設立理念の達成を目指し、オール聖学院一致の精神を高揚するとともに、その財政的基盤を確立するため法人諸学校関係諸団体の構成員及び法人諸学校の設立理念に賛同する篤志家による寄付行為を推進することを目的とする。

組織

第3条 本会は法人理事長が推薦する推進委員をもって組織する。
2 本会に推進委員長1名、副委員長若干名を置く。委員長、副委員長は法人理事長が委嘱する。
3 推進委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

活動

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。
(1) 法人への寄付行為の推進を図り、ASF法人会員、個人会員の加入促進を図る。
(2) 法人の現状について法人諸学校関係諸団体及びASF法人会員、個人会員の理解を深めることに努める。
(3) その他必要な活動を行う。

ASF寄付金

第5条 ASFの呼び掛けによる寄付金は法人に直接納入され、その帰属は法人とする。

推進委員会の開催

第6条 毎年1回6月に推進委員会を開催し、ASFの推進状況報告、推進計画等を協議する。

本会の費用

第7条 本会活動に要する費用は法人が負担する。

規則の改廃

第8条 本規則の改廃は、推進委員会の上を承を受け、法人理事会が決定する。

付則

1. 本規則は1988年7月30日から施行する。
2. 法人諸学校関係諸団体は、2012年4月1日現在、以下のとおりである。
 - (1) 聖学院大学後援会
 - (2) 聖学院大学同窓会
 - (3) 女子聖学院短期大学緑朋会
 - (4) 聖学院中学校高等学校PTA
 - (5) 聖学院中学校高等学校後援会
 - (6) 聖学院中学校高等学校同窓会
 - (7) 女子聖学院中学校高等学校PTA
 - (8) 女子聖学院中学校高等学校後援会
 - (9) 女子聖学院翠耀会
 - (10) 聖学院小学校PTA
 - (11) 聖学院小学校同窓会
 - (12) 聖学院小学校後援会
 - (13) 聖学院幼稚園父母の会
 - (14) 聖学院幼稚園同窓会
 - (15) 聖学院大学附属みどり幼稚園保護者の会
 - (16) 聖学院大学附属みどり幼稚園同窓会
 - (17) 篤志家の会(現職及び退職の理事・監事・評議員・教職員及び上記以外の卒業生の父母・保証人を含む。)

ASF(オール聖学院フェロースhip) 募 金

聖学院の教育充実のための目標額達成に向けて皆様からのご支援をお願いいたします。

2014年度募金要項

2014年度募金目標額	320,000,000円
募金プロジェクト	聖学院幼稚園・小学校建築事業 (聖学院小学校50周年記念事業・聖学院小学校レンガウォール募金) 全聖学院奨学資金充実事業 施設設備充実(大学・大学院・総合研究所) 施設設備充実(聖学院中学校高等学校) 施設設備充実(女子聖学院中学校高等学校) 施設設備充実(聖学院大学附属みどり幼稚園) 施設設備充実(聖学院アトランタ国際学校) (在外教育施設のため寄付金控除の対象とはなりません) 東日本大震災救援・復興募金 (直接的な寄付を考慮しており寄付金控除の対象とはなりません)
募金の種類等	個人・法人及び各種団体(PTA、後援会、同窓会等) 個人:1口 10,000円 法人:1口 100,000円 1口以上のご協力をいただければ幸いです。1口未満でも感謝を持ってお受けいたします。
入会・払込方法	○寄付金の納入によってASFの会員になります。 ○同封の学校法人所定郵便振替用紙にプロジェクト、口数、金額、ご住所、お名前等の必要事項をご記入の上、お振込みください。 ○学校法人所定用紙にて振込みの場合、送金手数料は無料になります。 ○クレジットカード(VISA,MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンからインターネットによるお手続きができます。 詳しくは聖学院ホームページ(下記URL)をご参照ください。 http://www.seig.ac.jp/
その他	○入金確認後、順次、寄付金受領書(特定公益増進法人の証明書付)をお送りいたします。 ○個人のご寄付については税額控除に係る証明書を合わせてお届けします。 ○匿名でのご寄付もたまわります。
お問い合わせ	学校法人聖学院ASF事務局 〒114-8574 東京都北区中里2-9-5 TEL:03-3917-8352 FAX:03-5907-7034

なお、ASF募金へのご協力につきましては毎年継続してお願いしております。
既にご寄付をいただいた方々には感謝申し上げます。

※レンガウォール募金については聖学院小学校に直接お問い合わせください。
聖学院小学校事務室 TEL.03-3917-1555 FAX.03-3917-1554

2013年度プロジェクト別内訳(2013年4月1日～2014年3月31日)

寄付総件数 1,104件 寄付金総額 318,979,189円

2013年度プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額 (円)
聖学院幼稚園・小学校建築事業 (上記のうちレンガウォール募金)	390 (33)	51,557,615 (4,400,000)
学校法人聖学院	34	1,889,781
全聖学院奨学資金充実事業	114	1,770,000
聖学院大学創立25周年記念事業	70	1,611,000
軽井沢セミナーハウス再建事業	7	244,850
パイプオルガン	2	100,000
施設設備充実 (聖学院大学)	83	77,471,496
施設設備充実 (聖学院大学大学院)	21	370,000
施設設備充実 (聖学院中学校高等学校)	98	120,223,258
奨学金 (聖学院中学校高等学校)	3	1,250,000
施設設備充実 (女子聖学院中学校高等学校)	113	59,004,078
施設設備充実 (聖学院大学附属みどり幼稚園)	73	1,187,138
施設設備充実 (聖学院大学総合研究所)	12	111,000
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	6	621,000
東日本大震災救援・復興募金	78	1,567,973
合 計	1,104件	318,979,189円

Friends of SAINTS

プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額(ドル)
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	21件	24,878.50 ドル

税制上の優遇措置について

学校法人聖学院は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けており、日本私立学校振興・共済事業団からは、本学院を指定受取人とする「受配者指定寄付金」の承認を受けております。寄付金は個人、法人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

○個人の場合

平成23年度の税制改正により、「税額控除」と「所得控除」のいずれか有利な制度を選択いただけるようになりました。但し、「税額控除」については平成24年3月29日以降に受領したご寄付から寄付金控除の対象となります。

	税額控除 ※新たに選択可能になったもの	所得控除
控除額	$\{(\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000\text{円}) \times 40\%\}$ 税率に関係なく所得税額から直接控除するため、小口のご寄付に対しても減税効果が大きくなります。	$\text{寄付金額}^{\ast 1} - 2,000\text{円}$ 所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得金額に比べ、寄付金額が大きい場合には、税額控除より減税効果が大きくなります。
申告時期	確定申告時（翌年1月1日～3月中旬）	
申告方法	本法人が発行した「寄付金受領書」および「税額控除に係る証明書写」を所轄税務署に提出してください。	本法人が発行した「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書写」を所轄税務署に提出してください。
還付される金額について ※おおよそのイメージです	例）給与収入600万円の方が5万円をご寄付された場合（所得控除・基礎控除のみ勘案した場合）	
	税額控除額： $(5\text{万円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 19,200\text{円}$ 還付金額 ^{※2} ： 19,200円	所得控除額： $5\text{万円} - 2,000\text{円} = 48,000\text{円}$ 還付金額 ^{※注} ： $48,000\text{円} \times 20\% = 9,600\text{円}$ ※注 各人が適用されている所得税率は収入によって5～40%の範囲で変動します。
備考	上記の還付金額はあくまでも控除の違いを掘りこんでいただくための簡易計算による金額です。必ず還付される金額ではございませんのでご注意ください。	

※1 … 年間総所得額の40%が限度額です ※2 … 所得税額の25%が限度額です

また、上記の控除に加えて個人住民税の寄付金税額の控除対象となる場合があります。本学院では東京都、埼玉県、更にさいたま市、上尾市にお住まいの方につきましては、条例により個人住民税の控除対象寄付金として指定を受けております。詳しくはお住まいの都道府県・区市町村へお尋ねください。

※領収書の発行について

クレジットカード決済でお申し込みいただいた場合、寄付金が法人に入金されるまでには申込日から通常約1ヶ月半ほどかかりますので、あらかじめご了承ください。また、領収書の日付は、申込日ではなく、クレジット会社から法人に入金された日付となります。そのため、11月以降のお申し込みは、領収書の発行日付が翌年になる可能性があり、その場合は、寄付金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。11月以降のお申し込みで、当年内での寄付金控除をご希望の場合は、郵便振替用紙によるお振込をご利用ください。

○法人の場合

本学院は、日本私立学校振興・共済事業団より「受配者指定寄付金」の承認を受けておりますので、寄付金の全額を当該年度の損金に算入することができます。必要書類はASF事務局より郵送いたします。日本私立学校振興・共済事業団への事務手続きはASF事務局で行い、手続き完了後には日本私立学校振興・共済事業団が発行する寄付金受領書をお送りいたします。

○遺贈等の場合

土地・建物などの現物による寄付についてもお受けいたしております。遺贈の場合には、みなし譲渡所得課税の免税が適用されます。詳細につきましてはあらかじめASF事務局までご相談ください。

20

インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォンまたは携帯電話からインターネットによるお手続きができます。
詳しくは以下 URL からご参照ください。

●学校法人聖学院ホームページ

<http://www.seig.ac.jp/>



【ASF 寄付のお申し込みはこちら】
のボタンをクリックすると、寄付申し込み
詳細ページが表示されます。

携帯電話（ガラパゴス携帯電話）を
ご利用の方は、下記QRコードから
携帯用ページにアクセスできます。
<http://www.seig.ac.jp/m/asf/>



●オール聖学院フェロシップ (ASF) 寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>



【インターネットからのお申し込み】
のボタンをクリックすると、本学が
寄付の決済を委託している株式会
社フューチャーコマースのF-REGI
寄付支払いサイトへ移動し、こちら
でのお手続きとなります。



All Seigakuin Fellowship

学校法人 聖学院

理事長・院長／阿久戸 光晴 副院長／山口 博・阿部 洋治
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-8351
ホームページ <http://www.seig.ac.jp> E-mail pr@seig.ac.jp

■さいたま上尾キャンパス

聖学院大学大学院

政治政策学研究科／アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科／人間福祉学研究科
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-725-0781

聖学院大学

政治経済学部／政治経済学科 コミュニティ政策学科※
人文学部／欧米文化学科 日本文化学科
人間福祉学部／児童学科 こども心理学科 人間福祉学科
学長／姜 尚中
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-781-0925
※ 2014 年度よりコミュニティ政策学科は政治経済学科と一体化して再編しました

聖学院大学総合研究所

所長／姜 尚中
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 聖学院大学内 Tel 048-725-5524

聖学院大学附属みどり幼稚園

園長／山川 秀人
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820 Tel 048-622-3864

■駒込キャンパス

聖学院 中学校 高等学校

校長／戸邊 治朗
〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1 Tel 03-3917-1121

女子聖学院 中学校 高等学校

校長／田部井 道子
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-2277

聖学院小学校

校長／村山 順吉
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1 Tel 03-3917-1555

聖学院幼稚園

園長／佐藤 慎
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2 Tel 03-3917-2725

■米国アトランタ

聖学院アトランタ国際学校

校長／エイハーン みな子
5505 Winters Chapel Road, Atlanta, GA 30360 USA
Tel 1-770-730-0045